

# 新人同士の 新時代のリーダー選び熾烈！

守り育て後世に残したい

## 新時代のリーダー選び熾烈！

を入れ、人口減対策として交

### 森下町長、後継指名

来年4月30日に任期満了となる若狭町長選。現職の森下裕町長は昨年より次回、町長選に不出馬の意向を明らかにしていて、後継に誰を推すか注目されていた。6月の町議会で3期目の任期限りで引退すると正式に表明。3期目当選以降、リーダーとして若い後継者を探していたとし、後継候補に前町議の渡辺英朗氏39歳を指名した。

森下町長は再整備したレインボーライン山頂公園や年縞博物館など観光施設整備に力を

### 若い力で明日を拓く

流人口増をはかり地域活性化に取り組み成果を挙げてきた。残り任期中に小学校の再編など残された課題に取り組みたいと常に前向きだ。

すでに前町議の藤本武士氏も出馬表明していて、新人同士の一騎打ちとなつた。

告示9カ月を前にして現職の後継と指名された渡辺氏が正式に立候補を表明した。

渡辺氏は国学院大学卒で、閻見神社の禰宜。平成25年に町議に初当選し、昨年から副

議長を務めていた。

自分の若さを生かし、時代の変化に対応できる町政を目指したいと意欲を示し、町議会に辞表を提出。「森下町政を継承しつつ、歴史や文化を感じられるまちづくり、ITを活用したまちづくりなどを推進していきたい。また、北陸新幹線を地域活性化のチャンスと捉え、年縞や三方五湖、福井梅など世界に誇れるものを発信していきたい」と抱負を述べる。

町長を目標に町議になつたという強い意思を持ち「歴史ある町、若狭町を町民の財産として守り育て後世につないでいきたい」と意欲を示し、支持をどこまで広げられるか。

代々神職の家柄だけに住民の信頼申し分なく、次代を背負う人物として地域の期待を一身に背負う。新人同士の一騎打ちとなつた若狭町長選は、今後の動向が注目され、目が離せない。

一方、藤本武士氏は告示1年も前に名乗りを挙げ、「5年先、10年先も若狭町の財政が上向くよう、財政改革を行わなければならない」と出馬への意欲を語り、議会に辞表を提出した。

美方高校を卒業した藤本氏は、東京に赴き会社勤務を経験し、28歳で帰郷。兄が町役場に勤務していることもあり、次男の藤本氏は家業の農業を継承。父親から受け継いだ畠を拡大し、現在有藤本農園を経営する。

町長を目標に町議になつたという強い意思を持ち「歴史ある町、若狭町を町民の財産として守り育て後世につないでいきたい」と意欲を示し、支持をどこまで広げられるか。

新人同士の一騎打ちとなつた若狭町長選は、今後の動向が注目され、目が離せない。

# 若狭町長選

渡辺英朗

昭和55年生まれ。国学院大文学部神道学科卒。閻見  
神社禰宜。平成25年、29年若狭町議当選。令和元年  
副議長。令和2年町議を辞職し、町長選に立候補。



藤本武士